

# CHOHO

長崎大学広報誌 [長報:チョーホー]

2006.January Vol. 14

WINTER



特集

対談 **長崎大学改革** ~目に見える「変化」を求めて~

長崎大学長 齋藤 寛

アサヒビール株式会社  
代表取締役会長

福地 茂雄

# 長崎大学職員を目指してみませんか？

皆さん、新年おめでとうございます。大学入試センター試験も三週間後となりまして。当日は日頃の勉強の成果を十分に発揮できるように健康に気をつけてください。

長崎大学は昨年十一月に永年勤続者表彰を行いました。これは毎年の行事でもありますが、長崎大学に二十年、あるいは三十年勤務した教職員を表彰するものです。

学長挨拶のなかで、私は『本日は永年勤続教職員の表彰式ですが、私はこの式は皆様に感謝の意を表明するためと考えています。組織は人が大切』とよく言われますが、大学はその最たるもので、大学の財産は学生と教職員につきます。長崎大学が法人化して二年の今、順調な歩みが続けているのは、学生が生懸命勉強してくれることと、彼らと毎日接する教職員の皆さまの日頃の仕事と研鑽のおかげです。長崎大学を代表して深く感謝します。』と述べました。

イメージが湧くでしょう。でも、職員についてはどうですか？

九州の国立大学には一般事務職員（総務、学生支援、財務、人事など）、図書系職員、施設系技術職員、医療系職員など約二万人の職員が働いています。いずれもきわめて専門性の高い職種です。本広報誌（CHOO）は教員と広報担当職員が協力して「皆さんが喜んで読んで下さる雑誌」にしようという知恵をしばって企画編集をしているのです。

将来どんな仕事に就こうかと考えている高校生の皆さん、専門性が非常に高く、本誌対談の福地茂雄会長がおっしゃっているように「誇りを持って仕事できる」国立大学職員という職種のあることを覚えてください。

毎年五月に九州地区の国立大学、高専などが統一採用試験を行っています。ただし、免許などを必要とする医療系職員などの場合は、別に選考があります。長崎大学は自発性があり、なににごにも積極的な人を職員に求めています。

追伸:学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp>)にもアクセスしてご意見をください。メールアドレス: [president@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:president@ml.nagasaki-u.ac.jp) 必ずお返事します。



長崎大学長  
**齋藤 寛**  
Saito Hiroshi

● CONTENTS

《特集対談》長崎大学改革「目に見える「変化」を求めて」……………1

《進化する大学院①》保健学専攻(修士課程)……………6

《進化する大学院②》熱帯医学専攻(修士課程)……………8

《かしい身体・老》現代人・身体はまだ古代人……………10

《We Love Circle》ジャグリングサークル「Jackpot(ジャックポット)」……………11

《人クローズアップ》「WHO」というフィールドで  
WHO放射線科学専門官・医歯薬学総合研究科 山下 俊教授……………12

《古写真・ひと万華鏡》一芥川龍之介と長崎……………14

《長大ニュース》……………15

《インフォメーション》・《編集後記》……………17

◎本紙記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌CHOO〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。

# 長崎大学改革

～目に見える「変化」を求めて～



福地 茂雄

アサヒビール株式会社  
代表取締役会長

*Fukuchi Shigeo*

対談



齋藤 寛

長崎大学長

*Saito Hiroshi*

今年4月で法人化3年目を迎える長崎大学。本格的な大学改革に取り組む長崎大学について、齋藤学長と本学OBでもあり、本学の経営協議会委員・学長選考会議議長であるアサヒビール(株)福地会長との対談が行われました。長崎大学のトップとビール業界のトップが、今後期待される長崎大学への熱い思いや、長崎大学像をそれぞれに語り合うという、白熱した内容となった今回の対談。

お二人が思い描く未来の長崎大学はいったいどのような姿をしているのでしょうか。



## ■「変化」は目に見えてこそ

**原田** 平成16年度から法人化ということで、大学もこれまでとは大きく変わりました。大学がどのように変わって、どんなところを目指しているのかについて、齋藤学長からお話いただければと思います。

**学長** 法人化になって長崎大学がどのように変わったかについては福地会長がよくご存じと思うのですが、平成16年度の1年間の長崎大学の実績を文部科学省に提出しました。その結果、大筋ではこれまでの長崎大学の取り組みはよろしいと言われています。しかしながら、私の考えているところでは、その改革はまだ十分とは言えません。長崎大学の教職員が、法人化になったということで、大学を大いに変えていかなければ社会の皆さんの支持も得られない、そういう事についての意識は統一していますが、各学部はどのような方向で変わっていくべきなのかとか、トップは何を考えているのかについてはまだまだ情報が不十分で、浸透していないというのが実情です。

**福地** 何にしてもそうですが、「変化」というものは目に見えないといけませんね。今の少子化・高齢化という世の中で、大学は学生達にまず入学志望校として選ばれる訳です。学生達を送り出すときは社会・企業から卒業校ということで選ばれる。しかも大学の数が多いため、その中で長崎大学がどのように生き残っていくか、長崎大学

の強みは何か、ということについて考えていかなければいけないと思います。

まず、強みということですが、やはりアジアに近い・南を向いているということではないでしょうか。しかし、それがわかっている形になって現れていなければいけないのです。教育と研究の面に現れてくることが大切ですね。例えば、留学生が増えてきたとか、具体的にアジア関係の講座が増えてきたとか。

## ■アジアへの視線

**学長** そうですね。医学部は現在ベトナムとケニアに感染症の研究のための拠点を作っています。熱帯医学に関するCOE(※)などももう3年になります。また平成12年に感染症の大学院を作りました。特色のある大学院ということで、感染症の大学院と熱帯医学研究所と一緒に、感染症の研究に特化していったわけです。法人化になって重点的な財政支援が可能になりました。そこで私はまず、**原爆後遺症研究と感染症**



研究の次として東アジアを中心とする学問を推進しようと思っています。福地会長は、九州に一つしかない、あるいは二つしかない環境科学部や水産学部が集まって何か特色あるプロジェクトを打ち出せば、それが長崎大学ならではの特長になると以前から経営協議会の場でおっしゃっていました。アジアに一番近い長崎大学という話が先程ありましたが、それで水産学部を中心に環東シナ海海洋環境資源研究センターを作つて、そこに環境科学部、経済学部、工学部なども入っていただき、第3番目に長崎大学が重点的に取り組む研究として打ち出そうということまで動いています。

※COE：日本の大学に世界最高水準の研究教育拠点を創り、研究の向上や創造的人材育成を図るための支援を行いながら、個性輝く大学作りを推進するプログラム。



司会・進行  
**原田 哲夫**  
*Harada Tetsuo*  
 工学部教授  
 広報誌企画・編集専門部長



## ■学部間の融合と総合力の発揮

**福地** それはすばらしいですね。その勢いでこれからも続けてほしいですね。しかし、その時に「総合力」というものを同時に発揮していただきたい。長崎大学の一番の弱みは「学部あって大学無し」ですよ。学部は個性は強いんです。伝統も十分にありますが、しかし、現代は学部の個性を維持しながら、総合大学としての経営をしていかないといいけないのです。私はいつも思うのですが、縦割りの組織がたくさん出てくると隣が何をしているのかわからない。縦割りの組織は縦の風はよく通すけれど、横の風はなかなか入りません。窓を開けてあげないといけません。いかに窓を開けるかが組織の運営上の難しさなんですよね。

もう一つの重要な点は「透明性」です。大学で何が行われているか外から見ても全く判らないようではいけませんね。

**原田** なるほど。これまでの大学はどちらかというと縦割りで、学部の個性と一言いながら自分の城を守りたいという、妙な確執があったように思います。理屈で分かっている、なかなか横とつながろうとしないところがありましたよね。

**福地** 横風を入れることについて、具体的な例があります。昨年、私は2回愛知万博に行ってきたのですが、そこで一番驚いたのは、水槽の中で金魚と鯛と一緒に泳いでいる姿でした。考えられないじゃないですか。

金魚は淡水魚で鯛は海水でしか生きられないのですから。その技術は要するにナノ技術と生物学のドッキングなんです。生物学だけ極めて、淡水魚を海水の中で泳がせるという発想は絶対に出てきません。

**原田** それはおもしろい話ですね。

**学長** 違う技術をドッキングさせてできた新しい技術のお話を聞いて、私がこれまで考えたのは、学部間の「融合」についてです。学部によっては違う学部同士の「融合」についてもすごく受け止め方が違ってきます。他と融合することに対してものすごく腰が引けていて、「そこと一緒にかかるとうちは飲み込まれるんじゃないか」と考える部局もあるくらいです。それで考えたのが、大学院で一緒になろうじゃないかということだったんです。それで最初に創ったのが感染症の大学院だったんです。

今度、東シナ海の問題で再度、大学院で融合させたいと考えています。取り分け「アジアンスタンダード」という言葉は、大学院G Pの

打合せの時に松岡理事から出た言葉で、「それはどういう意味ですか？」と聞いたら、「韓国も中国も日本も東シナ海に面している国で、我々はみんなあの海の魚を食べている。さらにアジアモンスーンという同じ気候帯と、大きな川や大陸棚がある土地に住んでいる。急激な経済発展と人口の集中という点も共通している。だから海洋の研究をする時には、欧米のいわゆる『グローバルスタンダード』とは違った『アジアンスタンダード』が生まれてくる」ということなんです。そうすると、経済学部がすぐに話にのってきて、そうだと、同じ企業の会計のやり方でもアジアのスタンダードというものがあるはずだから一緒に研究をやろうと。私の戦略としては大学院で文系・理系が融合し、長崎大学にしかできないものをどんどん始めようと思っっているんですよ。



**福地 茂雄** アサヒビール株式会社  
 代表取締役会長

昭和9年生まれ。昭和32年長崎大学経済学部卒業後、同年アサヒビール株式会社入社。営業部長、大阪支社長等を経て、平成11年1月代表取締役社長に就任。平成14年1月から現職。

# 長崎大学だからこそ、 アジアを見据えて 新しい大学の創造を進めたい。



**福地** 「アジアンスタンダード」ってものすごく良いと思いますよ。私はいつも言うんですが、やはり、19世紀はヨーロッパの時代で、20世紀は北米の時代だったんですね。21世紀はアジアの時代だと言いますよね。そうだとすれば「アジアンスタンダード」があつていい。ただそれは世界のスタンダードと逆方向のものであつてはいけませんね。いろいろなスタンダードは最終的には互いの文化理解のことですから。

**原田** 先程から「総合力」や「融合」ということが挙げられていますが、文系学部が比較的少ない長崎大学では、今後、このような問題をどのような形で解決するかが問題ですね。

**学長** 文化を理解しない理系の研究者はもう研究者ではないんですね。各国の歴史や古くからそこに住んでいる人間の考え方について理解しなければ共通の認識というものは生まれない。長崎大学には確かに法学部や文学部などはありませんが、長崎大学の千人の教員の中には、経済学部や法学部、文学部など文系学部出身の教員も決して少なくありません。だから我々教職員全員がそのことを考えて、歴史、文化、あるいは人々の考え方に関心を持つことは重要なのです。そうすれば学生ともお互いにコミュニケーションできると思います。例えば、経済学部の学生の講義に水産学部や工学部の教員が担当する部分を作れば、より実践的エコノミストが育つと思いますよ。

## 開かれた大学を目指して

**学長** 私は、大学における大切な勉強の場の一つは図書館だと思っています。ただ長崎大学では学生の図書が充実していないことが欠点の一つだと思います。医学部と経済学部は昔から、学部の図書室があつて、図書も充実しているのですが、文教キャンパスは昭和24年できて以来、いろいろな学部が集合してきますから、学生に対する専門分野の図書が非常に少ないのが現状です。その点は今後の課題として、まず図書館を充実させるために行ったのが利用時間を18時から21時45分まで延ばしたことです。そうしたら、さっそく学生から「うれしい」という声が返ってきましたよ。

**福地** 学生の活字離れが進んでいる現状ですから、やはり図書館の充実は重要ですね。

図書を自分で買うとなると、読んでみないといい本か悪い本か分からないですよ。私は図書館に行ったら片っ端から新刊ばかりを借りていくんですよ。そしておもしろい本があれば、それがきっかけでその作家や内容に没頭していくというわけです。

**学長** 学生も会長のようにもつと本に親しんでもらえたら良いのですが。日曜日も開館し、一般の市民の方にも図書館を公開しています。もつともつとPRして市民の方にもたくさん来ていただければ、学生の支援にもなります。

**福地** 市民の方に「学生の態度が良い」とか、「あの大学のキャンパスはいつ行っても明るくて楽しい」「守衛さんが優しい」などと思つてもらえると、そういう事も一つの「学風」になりますからね。

**学長** そうなんです。もつと市民の方にも大学に親しんでもらいたいと考え、私は去年から教育学部の学生と教員に頼んで学生プラザで「ランチタイムコモンサート」を始めました。すると、だんだん来聴する学生が増えてきて、今やその事を聞きつけて近所の方までが来てくたさるようになりました。市民の方が学内に入りやすいようにして、学生と一緒にできることから始めていこうと思つています。学生の美術作品を構内に飾る事も始めたんですよ。





# 「長崎大学に誇りを持つこと」 長崎大学を創る全ての皆さんに 一番抱いてほしい言葉です。

## アンサンブルヒーロー (縁の下の力持ち)

**原田** 私は初めて福地会長にお会いして、個人的にお聞きしたいことがございます。「スーパードライ」についてです。それなりのサクセスストーリーがあると思うのです。いろんなものが組み合わさって、それができあがったと思います。例えば、人材教育ですとか、環境のあり方とか、戦略的なものとか何でもよろしいのですが、差し障りのない程度にお話ししていただけないでしょうか。

**福地** いやその話はやめましょう。それはもう1900年代の話だから。今はもう成功体験というものは役に立たないんですよ(笑)。それは、当時と今の生活、経済、いろいろな環境が全然違うから。その時の一つの事象だけを取り出して成功体験としてその通りにしてもうまくいきませんから。

ただ、物事が成るようになるためには、多くのアンサンブルヒーロー(unsung hero)が必要なんです。日本人はどうしてもヒーローやヒロインを作りたがるんです。これはあの人がやったという風にね。アメリカンフットボールでもそうですが、タッチダウンをするときには、中央突破をするときにはオフエンスタックルが相手のディフェンスタックルを倒す、そして初めてクォーターバックが前に進めるわけですよ。だからタッチダウンができる。そこにはアン



サンブルヒーローがたくさんいるわけですよ

ね。私は長崎で毎年、高校に話をしに行くんですが、その時に若者に言うんだけど、「皆さんはヒーローになりたいかもしれないが、縁の下の力持ちになることも大事だ」と。また、一方では「時を告げる経営者よりも、時を作る経営者がいい」と言う言葉があります。それは一つの経営のシステムをつくる人物のことで、つまり、その人が死んでも社長を辞めても組織がそのシステムを回していけるということなんです。

## 長崎大学に誇りを持つ

**原田** 最後に長崎大学へメッセージをお願いします。

**福地** 今大事なのは長崎大学の教職員と学生が、自分の大学がすばらしいと誇りを持つことですね。誇りはものすごく大事じゃないですか。だから、教授陣には研究と

いた伝統があるからだと思います。

**学長** そうですよ。私はいつも入学式と卒業式では言うんですよ、大学は教職員と学生と卒業生この三つで作られると。そういう形でみんなが参加して作った大学を卒業すると誇りがもてるし、そこにアイデンティティーができるんです。

**福地** そうそうそう。だからまず、校歌を歌うとかね。

**学長** いいですね。それが一つの誇りにもなりますからね。

**原田** 今回の対談では、法人化3年目を迎える長崎大学に対して、会長からいろいろな事例を交えながら、貴重なアドバイスや我々教職員・学生に向けたエールをいただきました。長崎大学をとり巻く環境を見据え、いかにして大学の個性を生かした取り組みを行うかが今後の鍵と言えそうです。今日は長時間、大変参考になるお話をありがとうございました。

進化する  
大学院①

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に、保健学専攻(修士課程)を平成18年4月に新設!

# 保健学専攻(修士課程)

人の健康的な社会生活をサポートするスペシャリストの養成

保健学専攻  
(修士課程)  
概念図



全国初となる  
修士(理学療法学・作業療法学)が  
取得できる

特長1

他専攻と連携しながら  
保健学を学べる

特長2

〔保健学専攻〕の2講座4分野

◎看護学講座

●健康推進看護学分野

地域医療における看護実践者の  
育成や研究

●リプロダクティブヘルス※・  
国際看護学分野

国際的な視点から女性に関する  
看護を実践する人材の育成

※リプロダクティブヘルス：人間の生殖システムやその機能活動過程のすべての側面において単に疾病、障害がないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること

◎理学・作業療法学講座

●理学療法学分野

医学・福祉・教育分野で活躍する  
理学療法士の育成

●作業療法学分野

医学・福祉・教育分野で活躍する  
作業療法士の育成

修士(看護学、理学療法学、  
作業療法学)が取得できる

※平成20年に博士課程を開設予定

保健学専攻が医歯薬学総合研究科に属することで、医学・歯学・薬学との共同研究を行うことができます。他の大学院では行えない様々な視点から高密度な内容の知識習得や研究が可能となりました。



医学部保健学科 千住 秀明 教授  
理学療法学専攻 Senjyu Hideaki

今年、大学院に新しく設置される「保健学専攻」。高齢化や医療の高度化に伴って、医療や看護に対する人々のニーズは高まり、多様化しています。医学部保健学科ではそのようなニーズに応えられるよう、保健学専攻(修士課程)設置の準備が進められてきました。その内容を担当の千住先生と一緒にみなさんへお届けします。

Q なぜ「保健学専攻」が新設されるのでしょうか?

A 医療の急速な発展に伴い、国民の細かな医療のニーズに対応できる高度医療人が必要だからです。

例えば、在宅医療が推進されている現在、保健医療専門職者(看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士)に求められている

るのは、患者個人の生活スタイルを保ちながら、健康増進のための医療活動を効率よく行うことと云えるでしょう。

しかし、そのためには、今までのように医者からの指示をまっとうするだけでは成り立たず、保健医療専門職者が適切な自己判断と創意工夫のもと、患者と直接向き合い、他の専門職者とも連携を図りながら臨床現場で働く能力が不可欠です。その能



保健学科(手前・右)は長崎大学附属病院(左奥)と近く、両者の連携による実習が活発に行われている。



## ◎看護学講座

### ●健康推進看護学分野

健康の維持、増進、治療を必要とする人々のケアに必要な高度専門知識・技術など、医学部・歯学部附属病院、地域関連施設と連携しながらコーディネートできる高度な看護実践者を育成します。



介護予防など健康システムの追求



のし地街の  
か生推  
進を健  
面性推  
特た健  
護の研  
究

### ●リプロダクティブヘルス・国際看護学分野

主に国際的視点から、母子保健に関する問題、また、女性と家族の健康支援、途上国におけるプライマリ・ヘルスケアを実践できる看護専門職者を育成します。また、県内唯一の助産師教育施設として地域に根ざした活動を展開していきます。



途上国における健康問題の研究



女性の健康支援のための活動と研究

## ◎理学・作業療法学講座

### ●理学療法学分野

高度な基礎知識（基礎理学療法学）と質の高い理学療法技術（臨床理学療法学）を持つ理学療法士を育成します。



運動が呼吸・循環器系に与える影響についての研究

### ●作業療法学分野

地域環境の特性を見据えて作業療法法の提供ができる高度な専門能力と技術を備えた作業療法士を育成します。



鏡を通して、左手の健手の握り動作を患手である右手に再学習させる訓練

※作業療法士…(OT/Occupational Therapist)

身体・精神に障害がある人に対して、作業活動を用いてリハビリテーションを行う専門職

※理学療法士…(PT/Physical Therapist)

身体に障害がある人に対して、運動・水浴・牽引などの治療手段を用いてリハビリテーションを行う専門職

## 3

保健学専攻の特長は何ですか？

## A

保健学専攻以外の他専攻と協力しながら、研究や人材育成が行われます。

長崎大学における保健学専攻の最大の特長は、医歯薬学総合研究科に属する他専攻と共同研究をしたり、いろいろな先生方と関わりながら、保健学を深められることです。保健学専攻は2講座4分野に分かれます。それぞれの分野の関係は、概念図に示している通りです。

## 4

「保健学専攻」ではどのような称号が得られますか？

## A

修士(看護学、理学療法学、作業療法学)の称号が各分野で得られます。

看護学分野では、すでに多くの大学で修士(看護学)を取得することができましたが、国立大学法人では、「理学療法学」「作業療法学」の名称の付いた修士学位を得ることができませんでした。(国立大学法人では修士(保健学)、修士(リハビリテーション学)などは取得できませんでした。)

しかし、本学では全国初となる修士(理学療法学)、修士(作業療法学)の称号が得られます。これらの課程を修了すると、臨床現場でリーダーシップをとりながら高度な保健専門医療に携わることが出来ます。

## 2

「保健学」とはどんな事を学ぶ学問ですか？

## A

「人の健康支援」について広く探求する学問です。

「保健学」は、「健康の維持増進」「病気や障害の予防」「病人の治療やケア」「障害者のリハビリテーション・社会復帰」など、人の健康支援に関わる全ての分野について深く探求する学問です。「人が健康的に社会生活を送るにはどうしたら良いか」を追求していく学問と言えるでしょう。その点から「保健学」は、福祉や医学などとも密接な関係がある分野とも言えます。

今年から大学院に新設される「保健学専攻(修士課程)」では、さまざまな分野が広がる保健学の中でも「看護学」「理学・作業療法学」の2講座に絞り、より高度な保健医療専門知識を持ちながら、学際的な協働のできるスペシャリストを育成します。

進化する  
大学院②

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に、熱帯医学専攻（修士課程）を平成18年4月に新設！

# 熱帯医学専攻（修士課程）

感染症や熱帯医学について  
グローバルな研究やプロジェクトを行う

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に新しい分野の修士課程「熱帯医学専攻」が新設されます。

「熱帯医学専攻」は、一般的な修士課程とは異なり、臨床経験のある医師を対象とし、現地実習を中心とした1年制のカリキュラムとなっています。感染症についての高度な専門知識と技術を持ち、現地において即戦力となる専門医師を養成します。

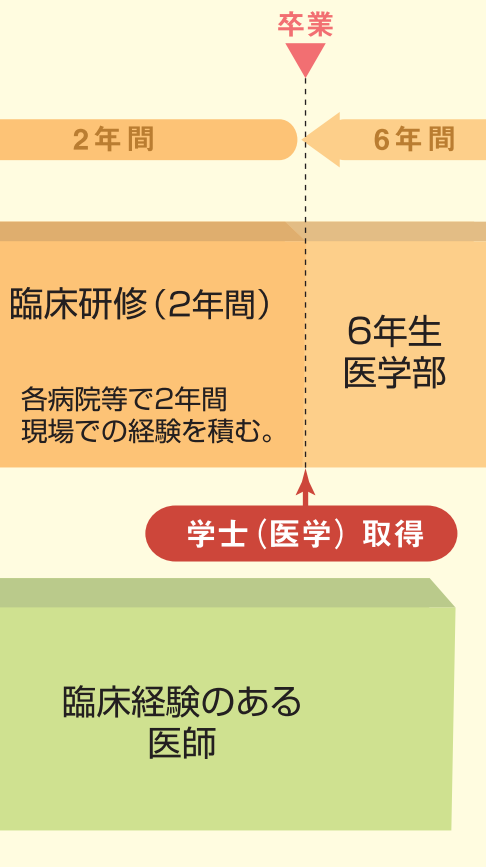
熱帯医学研究所環境医学部門  
疾病生態分野 分子免疫遺伝学専攻

平山 謙二 教授  
Hirayama Kenji



## 修士（熱帯医学）取得までの流れ

熱帯医学専攻で行われる教育システムの特長



### 熱帯医学研究所と感染症の研究

長崎大学にある熱帯医学研究所は、これまで日本脳炎ウイルスやフィリリア撲滅などの研究、専門研究員の養成などが、長年行われてきた国内唯一の熱帯医療専門機関です。感染症と熱帯病について、その予防と制圧を目的とした世界レベルでの研究や医療活動が日々行われてきました。

しかし、最近では「SARSS」「鳥インフルエンザ」などの新興感染症や、以前日本で流行した結核やコレラが再び流行するという再興感染症について、より詳しい調査・研究が重要となり、さらに世界レベルで取り組む新たな予防策や撲滅方法が早急に必要とされています。

### 世界の感染症とその現状

「SARSS」「鳥インフルエンザ」などの新興感染症の多くは、熱帯地域を中心とした発展途上で発生しています。

しかし、経済活動が地球規模で行われるようになった現在、発展途上で発生した感染症の流行がその周辺国家へ流出し、被害の拡大につながっていることが大きな問題となっています。

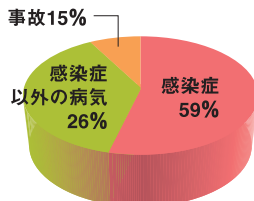
また、熱帯地域においてマラリア、エイズ、結核、乳児の肺炎、下痢症などの感染症で死に至

る患者数は、先進国で問題になっている、がん、高血圧、心疾患など生活習慣病で死亡する患者数よりも圧倒的に多く、現在でも正確な死亡者数が特定できない状況です。

現在、世界中で新興・再興感染症の問題が発生・再浮上している中、地球規模でその対策に貢献できる専門家、さらには世界各国にある感染症の関連機関と協力しながら、研究や医療プロジェクトを進める熱帯医療の専門家が必要とされています。

### 早急な感染症の専門家が 必要な熱帯医学分野

そこで長崎大学では、このような現状を踏まえ、熱帯医学研究所で行われてきた研究をさらに高度化し、感染症が重大な問題となっている地域で活躍できる人材を育てるために「熱帯医学専攻」を新設する事になりました。



サハラ以南のアフリカの主な死因  
(出典/WHO)



小グループでの討論



修了

修了

※3~4年間を計画中

1年間 / 30単位 / 定員12名

博士課程

### 熱帯医学修士課程(1年間)

全国の  
大学では  
唯一

### 教育の特長

1年間の修士課程

臨床経験のある医師が対象

4週間の海外臨床研修

英語による教育

博士取得

修士(熱帯医学)取得  
Master of Tropical Medicine



熱帯医学研究所の様子



屋外診療グループへの参加



マニラ病院での海外臨床実習

## 「熱帯医学専攻」の特長

### 特長1 1年間の修士課程

「熱帯医学専攻(修士課程)」は、他学部の大  
学院のシステムとは大きく異なります。修士課  
程は通常2年間ですが、「熱帯医学専攻」の場  
合は、1年間となっています。それは、より早く  
感染症が問題となっている地域で活躍できる  
医師の輩出が望まれているためです。

しかし、この1年間で、高度な知識や技術を  
習得したり向上させたりするためには、医師と  
して医療現場を経験することが不可欠で  
す。その理由は、感染症患者数が圧倒的に多い  
現地で、リーダーシップを発揮しながら、適切か  
つ正確な判断を行う基盤が、臨床経験にあるか  
らです。「熱帯医学専攻」が、臨床経験のある医  
師(NGOや国際機関で医療活動を行っている  
医師、大学の専門科担当医師、臨床研修を修了  
した若手の医師)や、医学部(6年間)を卒業し  
た後、2年間医療現場を経験した医師を対象  
としているのはそのためです。

また、ここでは熱帯医学学校として知られるロ  
ンドン大学(英)・リバプール大学(米)・マヒド  
ール大学(タイ)から客員教授を招き、熱帯医学  
に関する専門講座が集中して行われます。1年  
間で、「熱帯医学に関する高度な知識と技術の  
習得」と、熱帯感染症の関連機関と連携し、「新  
興感染症の経路の特定や、ワクチンの開発」な  
どに携わることのできる専門医を養成します。

### 特長2 現地4週間の臨床研修

「熱帯医学専攻」では、4か月間の熱帯医学  
の基礎演習を終えると、8月にタイ・ベトナム・  
フィリピンでの現地研修(4週間)が行われます。  
●前半の2週間：タイ(バンコク)の熱帯臨床  
医学に関する機関を複数訪問し、熱帯病  
感染症に関する保健衛生上の取り組みにつ  
いて実地研修を行います。

●後半の2週間：チェンマイ大学附属病院(タ  
イ)やチョウライ病院(ベトナム)、サンラザロ  
病院医療センター(フィリピン)の3か所の病  
院に4名ずつに別れ、感染症や母子保健など  
の医療チームに参加し、臨床研修を行います。

### 特長3 英語による教育

現地で即戦力のある医師として医療行為に  
携わる際には、英会話能力が不可欠です。その  
ため、「熱帯医学専攻」で行われる授業や実習  
のすべてが英語で行われます。

英語をただ単にコミュニケーションツールと  
してだけではなく、疾患についての疫学・予防・  
診断・治療の概要を説明したり、現在の熱帯医  
学の問題、それについての対策・研究・開発な  
どを検討する力を同時に養います。

# かしこい身体考

からだ

## 第4回 「現代人・身体はまだ古代人」

### 動く体で

### 動かない生活に

ヒトの祖先は、およそ400万年前の猿人にまで遡ることができます。

現代日本人の祖先は、1万年から2万年前の縄文人や弥生人と考えられます。彼らは魚や動物の狩猟、木の実の採集、多少の稲などの農耕を行っていたといわれています。調理法や味付けは異なりますが、現代の私たちとほぼ同様のもを食べていたのです。また脳の大きさもほぼ等しく、知能もそれほど変わらなかったといわれています。逆に考えると、現代の私たちは肉体的には古代人とほとんど同じであるといえます。

一方、暮らし方について1970年ころまでの日本の生活や生産の方法は「動くこと」で成り立っていました。

農作業も鎌や鍬を使い、人の手で稲を植え、スコップとツルハシで土を掘り、手押し車でコンクリートを運んでビルを建てていたのです。つまり、古代人ときほど変わらないからだの使い方をしていたこととなります。

ところが1970年代以降、作業の機械化に伴って座ってレバーを操作し、キーを押すだけで重量物の運搬が行なわれ、エレベーターや車で人も移動するようになりました。動くようにつくられているからだだが動かなくてもすむようになったのです。

### このギャップが

### 生活習慣病

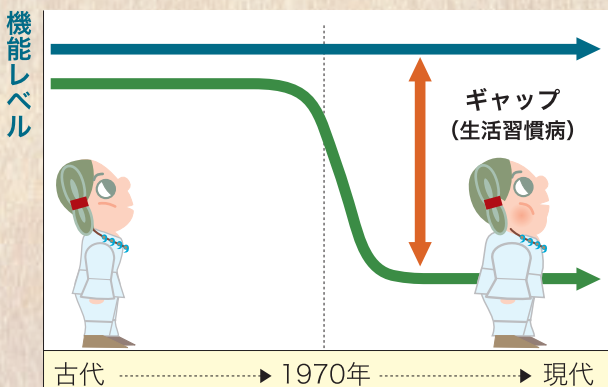
図は、1970年を境にした古代と現代の人のからだの働きや仕組み(機能)



教育学部教授  
(生涯学習教育研究センター長)

小原 達朗  
Obara Tatsuro

〈専門分野〉  
運動生理学・  
トレーニング論



現代人のからだの仕組み(機能レベル)は古代人と同じである。しかし、動かない生活が中心となっているため、生活の仕方(活動レベル)に差が生じ、それが「生活習慣病」となって現代人に現れている。

学生時代を謳歌するならやっぱりサークルでしょ。

# We Love Circle Jackpot

ジャグリングサークル



ジャグリングでよく使われる道具。ディアボロ(中国ゴマ)やクラブ、シガーボックスなどがある。



練習を始めると、自然と1人の世界に没頭してしまうそうです。



クラブを使ってる練習。一見難しそうに見えますが要領はお手玉と同じだとか。



コツは体で覚えます。



↑ Jackpot代表 森本さん  
「公演ではいつも緊張しますよ。でも、それを克服するのではなく、うまく集中力に変えられるように心がけています。」

← Jackpotのメンバー。  
公演の時は衣装も派手になります。

## ジャグリングは言葉のいらぬコミュニケーション

「どうしてそんなことができるの?」  
長崎大学ジャグリングサークル「Jackpot(ジャックポット)」が行う練習を見て、ほとんどの人が彼らの姿に見入ってしまうのではないのでしょうか?

平成15年4月に発足したJackpotは、長崎大学の学生や他大学の学生17名で結成されたジャグリングチーム。今や、地域で行われるさまざまなイベントに声がかかりっぱなしという多忙な日々を送っています。最近には月に7〜8回のペースで演技を披露しているというJackpotのメンバー。長崎帆船まつりや、カメラ祭、大村共立病院で行われる春の祭り、NBCフリーマーケット、アミュープラザ長崎等でのイベントが主なステージとなっています。

今こそジャグリングは大道芸の一つとして日本にも根づきつつありますが、まだ一般の人の認知度はかなり低いようです。このサークルを立ち上げた森本芳郎さん(医学部2年)は、高校からジャグリングを始めましたが、当時は教わる手

段が無く、海外からマスター用のビデオを購入し、ひたすら練習をしていたそうです。そこまで没頭できるジャグリングの魅力は何かと尋ねると、「スキルアップの面白さもそうですが、最大の魅力は、ジャグリングが多くの人を惹きつける力を持っているところでしょうか。イベントでのお客さんとの出会いや、今までのメンバーとの出会いは、ジャグリングを通してでないと思われなかったと思います。」

一年前、メンバーの何人かは、スマトラ沖の地震後、現地で行われたBOAT(Borderless Action Team)の一員として支援活動に参加し、現地の子どもたちを前にジャグリングを披露しました。地震直後で混乱した状況にあった子どもたちも演技が始まると、眼を輝かせてその技に見入っていたそうです。まさにジャグリングは言葉のいらぬコミュニケーションです。

「正直、現在月に7〜8回の公演はつらい部分がありますが、お客さんから『もってこい!』の大声援をもらうと、そのつらさもいつい次のがんばりに変わってしまいますね。」と森本さん。

ジャグリングの文化を長崎から広めていこうと、メンバーは今日も放課後の練習に励みます。

大学の教職員がWHOなどの国際機関に出向する例は非常に少ない中、山下先生の長年に渡る放射線に関する研究と教育活動は大きな評価を受け、世界中の研究候補者の中からWHO職員の一員として選ばれました。山下先生は2004年12月からWHO本部の「放射線部門」で専門官として勤務し、原子力発電やテロに関する放射線の問題などについて、解決の枠組み作りなどを行っています。



WHO放射線科学専門官  
医歯薬学総合研究科  
山下 俊一教授  
Yamashita Shunichi

#### サクラの木の植樹

山下先生がWHOに出向された際、長崎大学を中心としてサクラがWHOへ寄贈され、植樹が行われました。「日本の多くの医療専門家が、世界に向けた貢献をこの地でできるように」との願いが込められています。



## WHOのメンバーとしての旅立ち

1986年、当時のソ連邦で起こったチェルノブイリ原子力発電所爆発事故以来、放射線による人体影響が世界中から再び注目されるようになりました。

当時、原爆後障害医療研究施設で原爆被爆者の健康障害について研究していた山下先生は、原発事故後の医療支援と健康影響調査に携わりました。

多くの人々の命を救ったこの医療支援活動と、放射線に関する研究は、世界的な評価を受けました。この評価によつて、世界の専門家から山下先生へ「ぜひ、放射線について世界規模での活動や、統括を行ってほしい」という期待が高まりました。

これがWHO出向へのきっかけとなり、現在、先生はその本部で被ばく地の医療支援を行いながら、放射線に関するガイドライン作成などの活動を行っています。また、それらに基づいた新たなプロジェクトやネットワークを世界に構築する活動も同時に進めています。

## WHO放射線部門とは？

WHOには放射線に関する部署があります。放射線というと私たちは60年前に長崎に投下された原爆をイメージしがちですが、世界レベルで見ると、放射線の問題は原爆以外にも幅広い分野にまたがっています。

例えば、「原子力発電所の問題」や、「テロにおける放射線兵器の問題」、さらに私たちの生活にも関係するような、「レントゲン検査」や「CT検査等の医療被ばく問題」などがそれにあたります。

WHOの放射線に関する部門では、これらについて、加盟している192の国々と連携しながら問題解決・支援の枠組み作りに取り組んでおり、山下先生は、まさにその中心的な役割を果たされています。



WHO総会会議場風景

※国際保健機関 (WHO…World Health Organization)  
スイスのジュネーブにある世界の保健・健康の諸問題を扱う国際機関。

## 資金面の貢献だけではダメ!

放射線に関する問題は人体への影響だけに止まらず、水や空気、紫外線、電磁波など、人の生活を取り巻く環境全てに影響をもたらします。その点を世界各国から集まった放射線の専門家とともにトータルに考え、世界スタンダードを作ることが国際機関の大きな役割です。

このような活動が円滑に行われるよう、WHOなどの国際機関は、各加盟国が支出する分担金によってその予算が決められています。この分担金は、各国がそれぞれ

の国の予算規模に応じて負担することになっています。現在WHOにおいて日本はアメリカについて2番目に多い分担金を拠出しています。しかし、WHO本部職員約2,000人の中で、日本人職員はわずか30人弱。これでは、いくら予算面で大きな割合を占めても、日本が国際機関で実際にその貢献を認めてもらえるようなアピールをするのはなかなか難しいといわざるを得ません。

予算面での貢献だけでなく、実際に国際機関で働き、日本の貢献をアピールしていくことも非常に重要なことです。今後は、日本から多くの専門家を国際機関に送り出すという点からも、大学の役割は重要となります。

	分担率	分担金額(百万ドル)
米 国	22%	439.6
日 本	19.4%	346.4
ド イ ツ	8.6%	154.1
英 国	6.1%	109.0
フ ラ ンス	6%	107.3
イ タ リ ア	4.8%	86.9

2005年国連通常予算分担率・分担金上位6か国  
(外務省ホームページより)

## 放射線被ばくのシンポジウムを開催

2005年9月9日(金)、WHOで初めて、原爆をはじめとする放射線被ばくの健康影響を考えるシンポジウムが開催されました。長崎大学からも齋藤学長、兼松医学部長など多くの関係者がジュネーブに集まり、この会議に参加。長崎大学でもこの会議はリアルタイムで放映され、多くのスタッフが長崎にしながら会議の様子を見ることができました。

またこのシンポジウムでは同時に、60年前に長崎へ投下された原爆の被害状況と、現在長崎で活動しているヒバクシャ医療支援団体の活動状況を伝えるポスター展

を開催しました。長崎や広島での原爆被害については、まだまだ世界に知られていない部分が多い中、このポスター展は大きなアピールとなり、現地の報道機関にも大きく取り上げられました。



長崎大学で旧ソ連邦からの研修生に講義している山下先生

## 長崎から世界へ

### —長崎大学の取り組み—

現在、長崎大学医学部では、旧ソ連邦を中心とした多くの留学生や医学部の学生が、放射線の人体影響や、がんの発症メカニズムなどについて学んでいます。さらに、医学部では毎年、医療支援や国際プロジェクト、共同研究、研修プログラムを通じて、放射線についてより高度な知識や理解を持った人材育成のための活動に力を入れています。

今後、「長崎から世界へ」を合い言葉に、第二・第三の山下教授を国際社会に送り出せるよう、長崎大学は国際的な協力を積極的に行っていきます。



シンポジウム会場で同時に開催された長崎の原爆についてのポスター展



シンポジウムの様子

古写真

ひと  
万華鏡  
③

# 芥川龍之介と長崎

「環境科学部 若木太一教授」



長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫蔵 写真サイズ:縦51.5cm×横40.8cm

右の写真は、当時長崎高等商業学校の武藤長蔵(一八八〇〜一九四二)教授所蔵のものである。撮影場所は芥川らが宿泊した銅座の永見徳太郎邸の裏庭。  
向かって左から菊池寛(三十二歳)、前列が芥川(二十八歳)、背広姿の武藤長蔵(三十八歳)、右端の恰幅のいい和服を着ているのが主の永見徳太郎(三十歳)である。



長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫蔵  
本サイズ:縦19cm×横13.5cm

長崎大学経済学部武藤文庫には、芥川が武藤先生へ贈った『傀儡師』が所蔵されている。芥川はその見返しに次のように署名している。

武藤先生啓正  
大正八年五月 / 我鬼  
世の中を箱に入れたり傀儡師

## 「永見、武藤との長崎での出会い」

一九一九年(大正八)四月、二十八歳で大阪毎日新聞社に入社した芥川龍之介(一八九二〜一九二七)は、五月六日から十日にかけて菊池寛とともに長崎を訪れ、永見徳太郎(一八九〇〜一九五〇)邸に宿泊した。

永見徳太郎は代々、長崎で貿易商人として活躍した資産家で、永見商店を営むほか、金融業、倉庫業など手広く事業を行っていた。彼は「夏江」と号して優雅な趣味にひたり、『夏江画集一〜三』(一九二〜一九一五)を刊行、また財にまか

せて収集したさまざまな美術品や書画・骨董等をもとに『画集 南蛮屏風』『長崎の美術史』(一九二七)なども編纂している。当時、永見邸は、竹下夢二、横山大観、岸田劉生、黒田清輝などの画家や文人が訪れ、華やかなサロンとして賑わった。長崎医学専門学校教授として赴任中の齋藤茂吉(一八八二〜一九五三)や、長崎高等商業学校(長崎大学経済学部の前身)教授であった武藤長蔵らと親しく交遊した。

芥川はその永見邸で武藤教授と交流を持った。東京へ帰った後も芥川と武藤教授との間には手紙のやりとりがあったらしい。芥川は『我鬼窟日録』の大正八年六月三日の条に「長崎の武藤長蔵、盛に本を送って人を悩ます」と書いている。このおり、芥川は武藤教授に自著『傀儡師』を贈っている。

## 「芥川の初期短編集『傀儡師』」

一九一九年一月、芥川は短編集『傀儡師』(第三版)を新潮社から刊行した。この本の冒頭には「奉教人の死」がおかれ、次に「るしえる」といった芥川の初期の南蛮物が収められている。「奉教人の死」の主人公は信心堅固な少年「ろおれんぞ」で、内容は傘張翁の娘の赤子を燃えさかす大火の中から「ろおれんぞ」が救出すという物語である。世間の人はその赤子は「ろおれんぞ」との子どもでは

ないかと疑ったが、「ろおれんぞ」は実は女であった。

この話の原拠について芥川は、自らが所蔵する『れげんだ・おうれあ』下巻二章によるもので、当時長崎にあった教会に伝わる事実を脚色したものと記している。その本の扉には「御出生以来千五百九十六年、慶長二年三月上旬鏤刻也」とあるという。

また、芥川は一九一九年三月、キリスト教の聖人行状記『きりしとほろ上人伝』を書いているが、この話についても『れげんだ・おうれあ』の一章であり、潤色を加えたものと記している。当時、この本を学会未知のキリシタン版だと信じて閲覧を申し出た学者もあったという。しかし、『れげんだ・おうれあ』は芥川の作り話であった。

## 「芥川、再び長崎へ」

芥川は三十一歳の一九二二年(大正十一)初夏、四月二十五日から五月三十日にかけて、長崎へ再遊している。その時の『長崎日録』によれば、当時小説家を志望していた与茂平こと渡辺庫輔(一九〇一〜一九六三)の手配で「本五島町の旅籠」に逗留したとある。滞在中、芥川は永見徳太郎や画家の蒲原春男らと書画・骨董を楽しみ、唐寺、大浦天主堂などを訪れた。また、永見から紹介された芸妓、照菊(杉本わか)のために『河童屏風(水虎晚帰図)』を描いて贈っている。

渡辺はその後、東京の芥川家に長期滞在し、小説家を目指すが、父親の病気を機会に長崎に帰り、郷土史家として大成した。





### WHO(世界保健機関)と共催で 国際合同セミナーを開催

九月九日(金)、スイス・ジュネーブのWHO本部において、長崎大学とWHO共催の国際合同セミナー「放射線による晩発影響 原爆被爆から六十年間に得られた知見」が開催されました。

この会議の様子は、インターネット回線を通じて長崎大学でもリアルタイムで放映され、多くのスタッフが見ながらこの会議の様子を見ることができました。



セミナーの様子

長崎大学では、このセミナーを新たな契機として、長崎大学が行う放射線被ばくの研究や、治療に関する実績を世界の人々の健康と安全に生かせるよう、国際コンソーシアムの形成をさらに進めていきたいと考えています。

### 地域医療等社会的ニーズに 対応した医療人教育支援 プログラムに採択

長崎大学は、文部科学省の「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」に応募し、九月十四日(水)、「大学発」病院再生“による地域医療人育成―医療過疎地域に大学医学教育拠点を置き、地域医療の再生を通して次世代医療人の育成をはかる―」が採択されました。

この事業を実践するために、実施組織である「へき地病院再生支援・教

育機構」を設置し、春から平戸市民病院と北松中央病院に医師や研修医を常駐させます。地域医療人と連携し、総合内科、外科、小児科等の他に予防医学やリハビリなどの総合医を目指した研修・教育を実践します。



記者会見で説明する江口病院長

### 経済学部創立百周年記念 式典を挙げる

経済学部では、一九〇五年に経済学部の前身である長崎高等商業学校が設立されてから百周年を迎え、それを祝う行事が行われました。

十月六日に提灯行列を行い、市内アーケードや中華街など約二・五キロを進行しました。

また、十月八日には、来賓、同窓生、在学生ら約八〇〇人が出席した記念式典が挙行され、東條学部長の式辞に続いて、来賓の祝辞があり、トヨタ自動車 張 富士夫副会長の「ヒトツクリ、モノツクリ」と題した記念講演会が行われました。



式辞を述べる東條経済学部長

### 長崎大学全学同窓会を設立

十月八日(土)に長崎大学全学同窓会設立式が行われ、各学部等同窓会の連合体としての「長崎大学全学同窓会」が設立されました。

本会は、長崎大学の学部等の卒業生が加入する学部等同窓会をもって会員とすることとなり、各学部等の同窓会相互の交流と親睦を深めるとともに、長崎大学と同窓生との情報交換や連携協力を緊密にし、本学の発展と学術の振興に貢献することを目的に設立されたものです。

同窓会の役員として、会長に井石哲哉医学同窓会会長、副会長に福地茂雄瓊林会会長、会計監事に宮地計玉園同窓会会長がそれぞれ選任されました。



全学同窓会設立式の様子



## 「魅力ある大学院教育」 イニシアティブに 二件のプログラムが採択

長崎大学は、文部科学省の『魅力ある大学院教育』イニシアティブ』に応募し、十月二十五日(火)、「海洋環境・資源の回復に寄与する研究者養成」(生産科学研究科)及び「国際的感染症研究者・専門医養成プログラム」(医歯薬学総合研究科)の二件が採択されました。

この事業は、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な教育の取り組みを重点的に支援するものです。全国の国公私立大学から三三八件の応募があり、九十七件が採択されました。

## 学長賞授与式を挙

十月二十六日(水)、課外活動において優秀な成績を挙げたと認められる学生三名、学生団体五団体に学長賞が授与されました。学長賞を授与された学生及び学生団体は次のとおりです。

表彰事由	氏名・学生団体
第75回九州学生陸上競技対校選手権大会 男子400m「優勝」	全学陸上競技部 奥 博志
第52回九州地区国公立大学選手権水泳競技大会 男子1500m自由形「優勝」	全学水泳部 大江 俊至
第52回九州地区国公立大学選手権水泳競技大会 女子200m背泳ぎ「優勝」	全学水泳部 宮崎 晴佳
第49回全日本カッター競技大会「準優勝」	水産学部男子 端艇部
第49回全日本カッター競技大会「第3位」	水産学部女子 端艇部
第55回九州地区大学体育大会 男子4×100mリレー「優勝」 男子4×400mリレー「優勝」	全学陸上競技部
第53回全日本学生弓道選手権大会 女子団体戦「準優勝」	全学弓道部
第55回九州地区大学体育大会 サッカー競技女子「優勝」	全学女子 サッカー部



学長賞授与式風景

## 教育学部創立一三〇周年 記念式典を挙

長崎大学教育学部では、明治七年に教育学部の前身である小学教則講習所が設立されてから一三〇年を迎えたことを祝い、十一月十二日に長崎市内の会場において創立一三〇周年記念式典を挙行し、記念講演会及びシンポジウムを開催しました。

記念式典には、来賓、同窓生、教職員及び学生ら五〇〇人が出席し、橋本教育学部長の式辞に続いて、来賓から祝辞があり、記念講演会では、アサヒビール株式会社の福地茂雄会長から、「変える勇氣、変えない勇氣―いま問われる変化適応力―」と題して講演がありました。シンポジウムでは、「国際化に対応する教育戦略―競争と共存の調和に向けて―」をテーマに日中韓の教育戦略について実り多い議論が交わされました。



式辞を述べる橋本教育学部長

## 熱帯医学研究所が ケニア中央医学研究所と 新興・再興感染症研究拠点に 関する覚書の調印式を挙

熱帯医学研究所は、九月十三日(火)にケニア中央医学研究所において研究協力の覚書の調印式を行いました。

この覚書により、ケニア中央医学研究所に研究教育拠点を構築し、現地研究者の協力を得て、長期継続的及び学際的研究を維持しながら主要な感染症の研究を行い、その過程を通して大学院生を含めた若手研究者の実践的教育を推進します。

今後は、さらなる基盤的研究の推進により、重要感染症の生化学的、疫学的、臨床的、免疫学的及び分子生物学的研究が実施され、感染症予防における長崎大学の研究成果が人類の福祉と健康に大きく貢献するものと期待されます。



現地で調印後、握手を交わす齋藤学長

平成18年の新春を飾る特集には、アサヒビール株式会社の福地会長と齋藤学長とのビッグ対談を企画いたしました。法人化後、長崎大学はどのように変わってきたのか、今後どのような方向を目指すのかについて、トップ同士、自由に語っていただきました。現在、福地会長は経営協議会のメンバーとして、大学運営に助言をいただいているだけでなく、長崎大学経済学部のご出身であり、並々ならぬ母校愛をお持ちの方です。

内容の濃い対談を紙面の制約から5ページにまとめるのは至難の業でした。実際の対談では、随所でお二人の人生観、哲学等が語られましたが、それらを十分にお伝えできていないのがなんとも残念です。

**[編集・発行]**

長崎大学広報企画委員会  
(広報誌企画・編集専門部会)

TEL. 095-819-2014

FAX. 095-819-2024

(E-mail)

www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

**[発行日]**

2006年1月1日



古紙配合率70%再生紙を使用しています。

Information

入試情報

■大学入試センター試験

日 時 1月21日(土)・22日(日)

■前期日程試験

出願期間 1月30日(月)～2月7日(火) 試験実施日 2月25日(土)  
※医学部医学科は2月26日(日)も実施する  
合格発表 3月8日(水) 入学手続 3月14日(火)・15日(水)

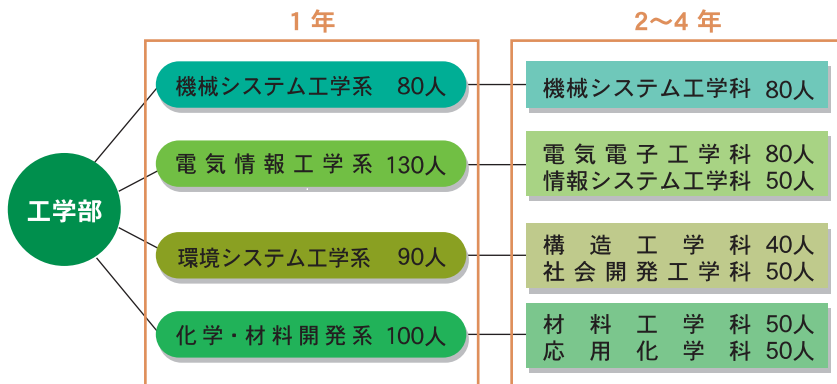
■後期日程試験

出願期間 1月30日(月)～2月7日(火) 試験実施日 3月12日(日)  
合格発表 3月21日(火) 入学手続 3月26日(日)・27日(月)

工学部「系入試」のお知らせ

一般選抜の前期日程及び後期日程では、**工学部の7つの学科を4つの系に分けて、系単位で学生を募集します。**

工学部では、平成18年度入学試験において「系入試」を行います。入学後、所属学科の決定に時間的な余裕を持たせ、学生の希望を尊重した選択が出来るようにするとともに、学習意欲の向上を図ることが目的です。(下図参照)



系入試の目的は

系単位で募集することにより、学生の希望と適性がよりマッチングする環境を築いて、教育の活性化を促進します。

所属学科の決定は

本人の希望を尊重し、学業成績も加味して1年の終了時に学科を決定します。

※AO入試、特別選抜(推薦入学、帰国子女、私費外国人留学生)については、従来通り7学科単位で募集します。ただし、1年次の講義はその学科の属する系で行います。詳細については下記へお問い合わせ下さい。

[問い合わせ先] 工学部学務係 TEL 095-819-2490

**3/24 FRI 卒業式**

日 時 3月24日(金) 10時  
場 所 長崎ブリックホール

**4/7 FRI 入学式**

日 時 4月7日(金) 10時  
場 所 長崎ブリックホール

## 表紙について

### 【Colorful Blocks+Tower】 ～見方を変える～

長崎大学教育学部  
情報文化教育課程芸術文化コース(絵画)  
4年 前田 真希

絵画ゼミで授業の一環として行われている「キャンパスの枠作り」。ゼミ生にとって、制作活動はここから始まります。これから描こうとする絵画をイメージしながら細長い木を加工し、日頃から様々な大きさのキャンパスを作るそうです。木の切断と接着にコツがあり、まっすぐなキャンパスを作るには経験が必要だとか。実は表紙で使われている木は、寸法を調整する時に出てくる木片に色をつけたもの。「このような何気ないものにも個性があり、それを積み上げると何か一つの意志もった形ができるのではないかと思ってバランスを考えながら制作してみました。」と前田さん。長崎大学が持ついろいろな個性を積み上げて、オリジナルな何かを創造するイメージもうかがえる作品です。

